

第18回田原市男女共同参画推進懇話会 議事要旨

1 日 時	平成25年3月4日（月）16:00～17:45
2 場 所	田原福祉センター3階 会議室
3 出席者	<p><委員> 中村都祁子会長、河邊寿夫副会長、岩田大介、菊池邦子、森下静子、大久保哲夫、本田則子、鈴木貴江、川口昌宏、永田みよ江、平野利依 （欠席者：松野美香、鈴木政義、吉武正康、榎本明美、太田敦子、加藤昌高、柴田登、金原真人）</p> <p><オブザーバー>武田圭太（欠席）</p> <p><愛知県男女共同参画人材育成セミナー平成24年度受講生> 朽木倫子</p> <p><事務局>渡邊市民協働課長、松井副主幹、柴田主事補</p>
4 議事録署名者	川口昌宏、永田みよ江
5 議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 各委員の取組状況 2 市の男女共同参画推進事業について 3 田原市の男女共同参画シンボルマークについて 4 田原市男女共同参画推進プラン<改訂版>最終案について 5 第6回男女共同参画フェスティバルについて 6 第4期懇話会委員の推薦、公募委員募集について

会議内容要旨

（1）各委員の取組状況【資料1】（報告：各委員）

- ・ドキュメンタリー映画「ガン・容子の選択」を観て、自ら判断し、納得する生き方を選択する主人公に感動した。
- ・インフルエンザ等で学級閉鎖になると、子どもを家に残して出勤できず悩む母親がいたようだ。
- ・人身売買に関するセミナーを受講した。日本は人身取引の温床で深刻な問題である。
- ・人権擁護委員で相談業務や人権啓発活動を実施した。自身の団体では、女性医師の映画製作に関わり、5月頃完成予定である。
- ・市民の皆さんに趣味を生かしながら国際交流活動に参加・協力してほしい。

（2）市の男女共同参画推進事業について【資料2】（報告：川口委員）

- ・懇話会、庁内ワーキング会議を開催し、プランに掲げる目標達成のため、各主体・各担当課の取組状況を把握する。（25年度継続）
- ・平成24年度にプランの改訂を行った。冊子と概要版の印刷は25年度に行う。

- ・審議会等委員の女性登用率を調査し、女性委員・公募委員の登用を促進した。(25年度継続)
- ・広報たはらに年2回「男女共同参画ニュース」として特集ページを設け、啓発を行った。(25年度継続)
- ・男女共同参画フェスティバルにて、市民活動団体の交流や夫婦の生き方をテーマとした映画を上映し、市民への意識啓発を図った。(25年度継続)
- ・平成24年度新規事業として、市民提案型委託制度での男女共同参画啓発事業を3事業募集した。(25年度継続)
- ・委託事業のうち、「男女共同参画の視点からの防災」をテーマとしたパンフレット作成事業は田原市赤十字奉仕団から提案があり、現在業務実施中である。
- ・愛知県男女共同参画人材育成セミナーの受講支援として、交通費を支援した。(25年度継続) 来年度の受講生を3月18日(月)まで募集。

○男女共同参画啓発パンフレット作成事業経過報告(田原市赤十字奉仕団:本田委員)

- ・市役所担当課と役割分担し、メンバー同士意見交換しながら作成を進めている。
- ・防災関係の講演会で学んだことも生かして作成していきたい。
- ・地域防災は、まず家族や地域のつながりを強めることが大切である。

○愛知県男女共同参画人材育成セミナー受講報告(平成24年度受講生:朽木氏)

- ・講義の内容は自身の仕事に直結するものが多く、大変役に立った。
- ・班別研修では年齢も立場もさまざまな他市のメンバーと「防災」をテーマとしてレポートを作成した。
- ・班別研修をとおして、絆の強いまちをつくるには、地域のつながりが大切だと感じた。自治会活動のほか、趣味の集まりにも積極的に参加して、人と人とのつながりをつくっていくことが大切である。

(3) 市民提案型委託制度 男女共同参画シンボルマークについて

【資料3】(説明:事務局)

- ・市の男女共同参画シンボルマークを専門業者に委託し、数案のデザインから市民意見と懇話会の意見により決定する。(前回懇話会にて決定)
- ・2月24日(日)開催の市民活動団体交流イベント「しみのひろば」にて、5案の市民投票を行った。
- ・市民投票の結果、3番のデザイン(手を象ったマーク)に半数近くの票が集まった。

<委員意見>

- ・類似するマークがないかどうか確認するべきである。

◀決定事項▶

- 類似するマークがないかどうか確認したうえで、会長と事務局に一任し、票の多い3番のデザインを採用することとする。

(4) 田原市男女共同参画推進プラン<改訂版>最終案について

【資料4-1】～【資料4-2】(説明：事務局)

○プラン全体の修正点

- ・全体的にレイアウトを修正
 - ・用語解説を追加
 - ・「男女ともに」は国の計画の表記に整合させ、漢字表記「共に」を使用
 - ・「障害者」は「障がい者」の表記に統一
 - ・第3章の各節 各主体の役割に「市の機関の役割」を追加
 - ・第3章、第4章の推進施策における各事業の担当課を、第4章・第3項「市の推進体制」として集約
 - ・市内の男女共同参画に関する活動事例を第5章「参考資料」にて紹介
 - ・図表は第5章「参考資料」に集約
- 第1章・第3節の文中「農業生産が活発であるため、農業が主要な女性就労の場となり、家族経営協定の締結を推進しています。」に修正。
- 第1章・第3節・積極的推進目標(3)を「あらゆる世代にとっての男女共同参画」に修正した。(第3章・第1項・第4節の節名も同様に修正)
- 第2章・第1項・第3節の文中「この計画は、市民・学校・地域・事業所・各種団体・行政等が目標都市イメージを実現するための各主体の役割や市の推進施策を記載しています。」に修正した。
- 第3章・第1項の評価指標のうち「各分野における男女平等意識」の「家庭における平等と感じる割合」の目標値を25パーセントから30パーセントに修正した。
- 第2項・第2節に導入文を追記した。同じく第3節の項目名「防災(災害復興を含む)、防災活動への女性の参画促進」を「防災(災害復興を含む)、防災活動への男女共同参画の促進」に修正し、導入文を全文修正した。
- 第3項・第2節の導入文中にある「障害者総合支援法」は「障害者自立支援法」の平成25年4月改正に伴って名称を変更し、欄外に正式名称を記載。
- 第4項の評価指標「保育園の待機児童ゼロの継続」「特別保育利用者数」の項目を追加し、「ファミリーサポートセンター支援件数」「児童クラブ件数」を削除した。また、「家族経営協定締結戸数」「新規就農者数」の目標値をそれぞれ260戸、120人に設定した。(たはら21新農業プラン改訂版の内容に整合)
- 5章・54頁「男女共同参画に関する市内の活動事例」に導入文を追記した。また、55頁の事例のうち、「女性防災リーダー」の活動内容文を一部修正した。57頁からの「男女共同参画関係データ集」のうち、57頁「男女共同参画の認知度」と59頁「各分野における男女平等意識」に、国の調査結果を掲載した。

<委員意見>

- ・第3章・第4項の評価指標のうち、「児童クラブ件数」「ファミリーサポートセンター件数」が削除されたのはなぜか。

→児童クラブは全ての子どもを対象として受け入れる体制に移行することを考慮すると、第4項の趣旨にそぐわないため削除することにした。ファミリーサポートセンターについては担当課に確認する。

- ・第2項・第2節「地域活動への男女共同参画の促進」はどのように検討したのか。
→修正部会の意見と、地域コミュニティ活性化研究会の内容を参考に作成した。

＜決定事項＞

- ファミリーサポートセンター件数を評価指標から削除した経緯は担当課に確認する。
- 確認事項を押さえた上で、会長と事務局に一任し、プラン<改訂版>は最終案のとおり決定とする。

(5) 第6回男女共同参画フェスティバルについて【資料5】(説明：事務局)

- ・開催日は平成25年8月25日(日)、場所は田原文化会館(前回懇話会にて決定)
- ・開催内容については、次年度の懇話会に引き継ぐこととしてはどうか。

＜決定事項＞

- 開催内容は次年度の懇話会に引き継ぐこととする。

(6) 次期懇話会の推薦委員・公募委員募集について

【資料6-1】【資料6-2】(説明：事務局)

- ・各組織には、担当課を通じて委員の推薦依頼をする。
- ・公募委員は、広報たはら4月1日号、市ホームページで募集する。
- ・推薦委員、公募委員ともに4月23日(火)までに推薦・応募を受け付ける。

(7) その他 第19回懇話会：平成25年5月頃(予定)

<配布資料>

【次第】

【委員名簿】

【資料1】各委員の取組状況

【資料2-1】市の男女共同参画推進事業(平成24年度・25年度事業)

【資料2-2】男女共同参画ニュース Walk Together(広報たはら2月1日号)

【資料3】田原市の男女共同参画シンボルマーク 市民投票結果

【資料4-1】田原市男女共同参画推進プラン<改訂版>改訂内容一覧

【資料4-2】田原市男女共同参画推進プラン<改訂版>(案)

【資料5】男女共同参画フェスティバルについて

【資料6-1】田原市男女共同参画推進懇話会委員推薦依頼

【資料6-2】田原市男女共同参画推進懇話会公募委員募集